

分野名		括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		7月		8月				9月				10月	11月	備 考							
						24	31		7	14	21	28		4	11	18	下	上	中	下	前	後			
燃料デブリ取り出し準備	建屋内除染	共通	(実 績) (予 定)	検討・設計																					
			1号		(実 績) ○【検討】R/B1階南側高線量機器対策検討（継続） (予 定) ○【検討】R/B1階南側高線量機器対策検討（継続）	検討・設計	【検討】R/B1 1階南側高線量機器対策検討 線量低減全体シナリオ策定 DHC配管・AC配管線量低減検討															完了時期 ・南側高線量機器対策 DHC配管・AC配管線量低減検討： 2016年9月			
			2号		(実 績) ○【検討】R/B1 階高所線量低減・中～低所ホットスポット対策検討（継続） ○ X-6ベネ周辺線量低減検討（継続） OR/B1 階 中所除染（ダクト内除染）（継続） (予 定) ○【検討】R/B1 階高所線量低減・中～低所ホットスポット対策検討（継続） ○ X-6ベネ周辺線量低減検討（継続） OR/B1 階 中所除染（ダクト内除染）（継続）		検討・設計	【検討】R/B1 1 階高所線量低減・中～低所ホットスポット対策検討 X-6ベネ周辺線量低減検討 線量測定結果を受けた解析・評価 コア抜き除染のモックアップ試験・習熟訓練 最新工程反映															＜低所除染まで（現状）で作業可能＞ ①PCV内部調査(X-6【北西】)： 調査再開日時調整中		
			現場作業		遮蔽のみで線量低減できる見込みが得られたため、 X-6ベネ周辺除染工程削除。 R/B1 階 中所除染（ダクト内除染） 最新工程反映																				
			3号		(実 績) ○ R/B1階作業エリア遮へい設計・検討（継続） ○狭隙部がれき撤去/除染（継続） (予 定) ○ R/B1階作業エリア遮へい設計・検討（継続） ○狭隙部がれき撤去/除染（継続）	検討・設計	【検討】R/B1 1階 作業エリア遮へい設計・検討																		
	現場作業	狭隙部がれき撤去/除染																							
	格納容器調査・補修	共通	(実 績) ○【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定（継続） ○【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発（継続） ○【研究開発】補修工法の実機適用に向けた環境改善の検討（継続） (予 定) ○【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定（継続） ○【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発（継続） ○【研究開発】補修工法の実機適用に向けた環境改善の検討（継続）	検討・設計	【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定 止水箇所に対する想定漏えい要因等の整理																				
			【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発 [S/C脚部の補強技術開発] 耐震性の検討・長期健全性の評価																						
			[ベント管埋設による止水技術開発] 実機環境を想定した要素試験計画の策定																						
			[S/C内充填による止水技術開発] 実機環境を想定した要素試験計画の策定																						
			[真空破壊ライン・接続配管の止水技術開発] 真空破壊ライン用ガイドパイプ・止水プラグの改良																						
			[トラス室壁面貫通部の止水技術開発] 実機環境を想定した要素試験計画の策定																						
			[接続配管ベローズ・機器ハッチシール部の止水技術開発] 実機環境を想定した要素試験計画の策定																						
			[D/Wシールの補修技術開発] 補修装置の概念設計および止水材の要素試験計画策定																						
			【研究開発】補修工法の実機適用に向けた環境改善の検討 補修工法の作業ステップの整理および干渉物・作業可能な線量等の検討																						
			1号		(実 績) なし (予 定) なし	現場作業																			
			2号		(実 績) なし (予 定) なし																				
			3号		(実 績) なし (予 定) なし																				
			燃料デブリの取出し		共通	(実 績) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発（継続） ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発（継続） (予 定) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発（継続） ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発（継続）	検討・設計	【研究開発】PCV内部調査技術の開発 PCVベデスタル内（CRD下部、プラットフォーム上、ベデスタル地下階）調査技術の開発																	
						PCVベデスタル外（ベデスタル地下階、作業員アクセスロ）調査技術の開発																			
						【研究開発】RPV内部調査技術の開発 穴あけ技術・調査技術の開発																			
						サンプリング技術の開発																			
1号						(実 績) なし (予 定) なし		現場作業																	
2号	(実 績) なし (予 定) なし	検討・設計																			PCV内部調査に向けたX-6ベネ 穿孔作業及び内部調査の実施時 期は、線量低減結果を踏まえ確 定する。				
現場作業																									
3号	(実 績) なし (予 定) なし	現場作業																							

